

お米通信

NO. 4

H19年5月11日

池谷・入山の棚田で栽培された魚沼産コシヒカリ

十日町市地域おこし実行委員会 080-1078-3660 (山本)

Fax 025-757-6403 atsuko@ap.wakwak.com

異常な小雪だった冬が米作りにどんな影響を及ぼすのか、心配しながらも着々と準備は進んでいます。病害虫に強い稲作りは、先ず丈夫な苗作りからです。苗はプラスチックの箱に播かれ、電熱によって一斉に芽出しをしたその後田んぼに並べます。はじめのうちはビニールのトンネルハウスで保護されますが、徐々に慣らされ時々の散水のみになります。こうして大切に手塩にかけて苗が育てられます。

写真の苗はあと20日程で田植えされる苗ですが、なんと踏みつけています。しかしこうすることによって背丈が抑えられた丈夫な苗に育ち、その後の農薬の軽減につながります。子育ても甘やかし過ぎてはいけないと言われますが、稲の苗育ても同じようです。



お米を食べた感想をお寄せください。

FAX 025-757-6403